

新 入 社 員 紹 介

名 前: 佐々木 諒 (26歳)
 ニックネーム: りょうちん
 趣 味: 古着屋巡り(おしゃれ番長になる予感...?)
 前 職: ホテルマン(接客のプロ!?)



昨年12月に入社した佐々木 諒さん!
 爽やかな笑顔がチャームポイントですが、まだ少し緊張気味…。
 見かけたらぜひ「りょうちん!」と声をかけてみてください!
 びっくりしながらも、きっと最高のスマイルで応えてくれるはずですよ!
 皆さん、どうぞよろしくお祈りします!

趣味は古着屋巡りと体を動かすことです。
 小学校から中学校まで軟式野球を、高校では陸上競技をしてました。
 前職は会員制ホテルのレストランで料理や、ドリンクをウエイターとして提供してました。
 まだまだ緊張していますが、たくさん話しかけてください!!



むしゅむしゅ Kitchen's file.8

~鯖缶で作る~ 春キャベツのペペロンチーノ



【材料2人分】			
・パスタ	200g	・ニンニク	3片
・鯖缶	1缶	・オリーブオイル	大4
・キャベツ	50g程	・鷹の爪	2本
・ミニトマト	6個	・塩	適量

- ★ポイント
- ✓ オリーブオイルにニンニクの香りをじっくり引き出す!
 - ✓ オイル×茹で汁でコク深い仕上がりに!
 - ✓ キャベツはサッと茹でると色鮮やかに!
 - ✓ パスタとソースを絡める時に、追いオリーブオイルするとおいしさUP!

【作り方】

- ① 【下ごしらえ】
 ニンニクは薄切り、キャベツはざく切り、ミニトマトは半分に切る。
- ② 【香りを引き出す】
 フライパンにオリーブオイル、ニンニク、唐辛子を入れ、弱火でじっくり加熱し、オリーブオイルに香りを引き出す。
- ③ 【具材を炒める】
 火を少し強めて塩胡椒と鯖缶、ミニトマトを加え、鯖缶をほくしながら炒める。
 軽く炒めたら、パスタの茹で汁をおたま半分程加えてフライパンを揺すりながら乳化させる。
- ④ 【パスタと仕上げ】
 パスタは塩を加えたお湯で茹で、茹で上がる1分前にキャベツを加えてざっと茹でる。茹で上がったから湯切りし、火を止めたフライパンに加え、全体を絡めたら完成!

春の足音が聞こえてくる3月!
 少しずつ暖かくなり、旬の食材を楽しむ季節がやってきました♪
 そこで! 今回の「むしゅむしゅKitchen's」は、
「鯖缶で作る春キャベツペペロンチーノ」をご紹介します!
 甘みのある春キャベツと旨みたっぷりの鯖缶を使った、
 簡単&美味しいパスタレシピです。
 にんにくの風味が食欲をそそり、忙しい日でもパッと
 作れる優れもの!
 栄養もたっぷり、春の訪れを感じられる一皿です♡
 ぜひ試してみてくださいね!

会社情報はホームページを!
<http://tps-s.co.jp/>



ブログも随時更新中です!
 ぜひご覧ください♪

Instagramはこちら→



編集後記

3月は出会いと別れの季節、そして、スギ花粉の本格的なシーズンに突入します!
 今年の飛散開始日は例年並みの2月下旬とされ、飛散量は例年(過去10年)と比べるとやや多い見込みのようです。
 症状が強くてから病院を受診しても症状を抑えることは難しく、症状が出る前から治療を開始する、初期治療が重要になるとのこと。
 とはいえ、症状が出てから受診の方が多いのでは?(私もその一人です...)
 「帰宅時に衣服や髪をよく払ってから入室する」「洗濯物の外干しは避ける」など有効的な対策をしつつ、早めの受診を心掛けたいものです。

編集委員: 小松、齋藤(理)、土屋、中村、武者(50音順)

2025年 3月号 TPSニュース vol.160

光る輝きをサポートします ~究極の夢と空間を追い求めて~
 繁栄物語助演会社
 株式会社ティ・ピー・エスサービス
 住所: 仙台市泉区上谷刈字治郎兵衛下48-3
 電話: 022-372-0815
 発行責任者: 中川 純
 この紙面は「繁栄物語助演会社」として地域の皆様、お客様、社員、お取引先の皆様、そして志を共にする関係業界の皆様のお役に立つために編集されています。

「TPS協力業者会 第8期通常総会」開催

2025年2月3日(月)に「TPS協力業者会 第8期通常総会」がTPS本社にて開催されました。
 2018年に創立されたTPS協力業者会ですが、途中コロナ禍をはさみ事業が思うように実施できない期間もありながらも無事に第8期を迎えることができました。これも偏にご協力頂いている協力業者会員の皆様のおかげと感謝申し上げます。



議長となり審議を進行して下さった安田会長からは、いつもTPS協力業者会への熱いメッセージを頂きます。業者会同士、研鑽し共に切磋琢磨して成長し合おうという想いは、総会に参加していた誰もが感じ得るものでした。



今期は、TPS協力業者会へ新規会員の加入もあり、安田会長の想いと共にさらに精力的に活動を進められていくことに期待大です。
 協力業者の皆さんの支えがあってこそこのTPSサービス。共に成長し更なる発展につなげていく所存です。

○総会の後は懇親会へ
 総会の後は、力寿司泉清柳館にて懇親会へ



TPS社員や総会に間に合わなかった会員の方々も合流し、大賑わいの宴となりました。外気は寒かったですが、会場は熱気に包まれました。

社長 Column

3月は一般的にいう年度末、来月4月は年度初めですが、私どもビルメンテナンス業界も3月は慌ただしい月であります。それは官公庁はもちろん一般企業でも契約更新や入札の時期となるからです。一年の経営戦略や売上計画、そしてそれぞれ各企業の一年に大きな影響を及ぼす大変重要な月となります。

弊社にあっては官公庁をはじめ入札物件の受注先は1件もなく民間企業や個人のお客様からのご契約のみで、あまり慌ただしい月ではないですが、それでも新規物件の受注は他の月に比べれば多くなり、会社とすれば嬉しい忙しさであります。

日本には官民でさまざまなビル・マンションが存在し、ビジネスや居住に役立てられております。これらのビルを運営していくためには、私どものようなビルメンテナンス業者による計画的なメンテナンスが欠かせません。建築物も生きモノですので、人間と同じく愛情を添えた維持管理が不可欠となります。

言い換えれば建物がある限りは必要な業種・業界であることに違いありません。

しかし、このビルメンテナンス業界も他業界と同様に複数の大きな課題に直面しております。私どもTPSももちろんのこと、ビルメンテナンス業として成長を続けていくためには、早急に課題の改善に取り組むことが大切です。

主要な課題としては

- ①人手不足、作業員の高齢化、人材育成
- ②新規需要減と企業競争の激化
- ③資源価格の物価高騰
- ④IT化とDXの推進

この他にもまだまだ様々な問題や課題が考えられますが、私たちビルメンテナンス業界は「労働集約型産業」ですので、人員に関わる課題が多いのが現状です。がしかし、私たちTPSはこれらの課題改善対策にしっかりと取り組み、社員の幸せを考え、働きやすい職場、やりがいのある職場、永く勤められる職場、そんなTPSらしい職場環境を整え、TPSがお客様から選ばれる工夫を行ってまいります。

齋藤 正人

蛍光灯がなくなる前に LED照明器具に交換しましょう！

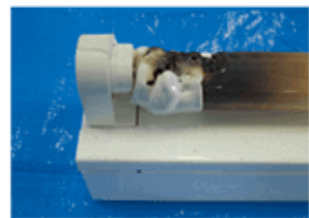
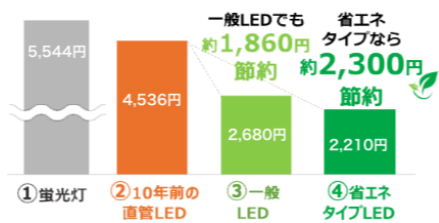
LEDライトの大きなメリットとして、寿命の長さが挙げられます。白熱電球や蛍光灯に比べ、寿命が長い点が特徴です。一般的に、白熱電球の寿命は約1,000～2,000時間で、1日10時間つけていると100～200日で切れてしまうとされています。蛍光灯の寿命は約6,000～12,000時間といわれるので、毎日10時間の点灯だと約2～4年でつかなくなる計算です。一方、LEDの寿命は、約40,000時間です。毎日10時間使えば年間約3,650時間、10年使い続けても約36,500時間となり、理論上は10年以上にわたり寿命が続くことになります。交換頻度が少なく済んでお得だけでなく、交換に手間がかかる高所の照明にも最適です。ただし、劣化を防ぐため10年を超えて使うのは避けましょう。**LEDライトは白熱電球や蛍光灯より少ない電力で同等の明るさを出せるため、消費電力を抑えられます。**電気代も考えて長期的な節約を図るなら、LEDに替えた方がお得です。

蛍光灯は器具ごと交換するのがおすすめ

蛍光灯をLED電球に交換する場合は、照明器具ごと交換しましょう。サイズが合うからといって安易に取り付けると、発火や発煙・漏電・感電などの重大な事故につながる恐れがあります。特に、直管形LED電球にはそのまま蛍光灯器具に取り付けられる製品が多く、気軽に取り換えてしまいがちです。しかし、LED電球は蛍光灯より重いので、天井に設置するタイプは落下するリスクもあります。

無線調光タイプなら快適性を損なわずさらに省電力化が可能です！

必要な場所だけ点灯するなど、LEDの省エネに加えて、さらにムダなく省電力化を実現。多様化する動き方に合わせて明るさや色を変えるなど、最適な照明環境が実現できます。施設や使い方に合わせて選べるだけでなく、施工や設定もかんたんです。



直管LEDランプの焼損例



一体型LEDベースライト
「Dシリーズ」省エネタイプ

きれいなガラスで印象UP

ビルやマンション等、建物に入る際、最初に視界に入るのはエントランスの自動ドアや扉ではないでしょうか。ガラスであることが多数です。入口のガラスが破損や汚れていると建物の印象が悪くなります。そういった理由から弊社定期清掃の施工の仕様には、1階ガラス清掃を組み込まれる希望が多くあります。今回は、ご自宅でもできるガラス清掃のポイントをご紹介します！

ガラス清掃の目的としては美観の維持、汚れの除去が主です。汚れを放置しているとこびりついて特殊な清掃が必要になります。ガラスの劣化も進みやすくなりますので、定期的な清掃が必要です。

定期清掃の基本的な施工ではシャンパーという道具に洗剤を付けて汚れを落とし、スクイジーで汚水を切り、縁や残った汚水をタオルで拭き取ります。高い所のガラスは脚立や延長のポールを使用します。さらに高所の場合にはスライダーという長いはしごを使用したり、屋上からロープを垂らして行うロープ作業や、ゴンドラや高所作業車での作業もあります。



家庭のガラスを清掃する際、シャンパーの代わりにタオルを代用すると良いと思います。中性洗剤を水で薄めてタオルで汚れを落としてください。スクイジーは百円ショップでも売られているので、あった方が便利です。スクイジーで上から下に汚水を切る際は、ガラスの下(床)が濡れてしまうので、タオルや新聞紙を敷いておくと良いでしょう。乾いたタオルでガラス枠の縁に残った水分をふき取りましょう。縁以外はスクイジーで綺麗に水が切られると思いますが、切り切れてない場合は拭き取って下さい。洗剤が多いと(タオルで汚れを落とした際に、泡立ちが多い程度)拭き取るのが大変になるので、洗剤は薄めで大丈夫です。タオルのみでガラス清掃するより、スクイジーを使うことで仕上がりが良くなり、時短にもなりますよ！



講師：岩崎係長

33期 第1回マスタースクール開催しました

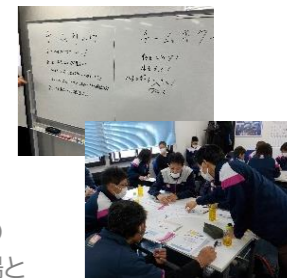
2月12日(水)、2月13日(木)、2月18日(火)、2月19日(水)の4日間で33期第1回目のマスタースクールが開催されました。マスタースクールは、TPSの光る輝きである総勢76名のパートスタッフのための研修会です。日頃の現場では一人で働くことの多いスタッフ、業務に関する知識を持ってもらうことはもちろん、スタッフ同士の横のつながりをもってもらうこともまたこのマスタースクールの大きな目的のひとつです。



今回の講義の一つ目は基本事項の確認。「清掃準備の基本」として準備、手順、点検・後かたづけ、「清掃作業従事者の心得」としてマナー、身だしなみなどをお手本VTRを見ながら確認しました。毎日同じ業務をしていると、慣れてしまって基本の大切さをついつい忘れがちになるところがありますが、改めて再確認する良い機会となりました。

また、その後の講義「危険予知について」では、グループディスカッションを実施しました。重い荷物を運んだり、台車を使用していたり、清掃をしている実際によくある状況での絵を見ながらどんな危険が予測されるのか、どんな対策が必要かと意見を出し合っていきます。経験に関係なく多くの気づきやアイデアの音が各テーブルから聞こえてきます。チームで発表された意見をホワイトボードに書き出して共有します。想像を超えた改善策が発表されることもあり、とても勉強になりました。実際の現場でも今後役立つに違いありません。

パートスタッフ同士で顔を合わせる機会は年に数回ですが、マスタースクールを通して顔見知りになったり、連絡先を交換し合うことも多く、マスタースクールは貴重なコミュニケーションの場となっています。次回のマスタースクールでもスタッフの皆さんの笑顔を楽しみにお待ちしております。



安全運転講習 in TPS

白にピンクのグラデーションでお馴染みのTPS車両。1日に20台以上のTPSカーを市内のあちこちで見かけることができます。走行の車両が多いということはその分交通事故のリスクも高くなるため、2月某日損害保険会社の方をお招きして「安全運転講習」を社内にて開催しました。

出席者は日頃TPS車両を運転するスタッフ全員。まずはセルフチェックで自分は運転時に「焦りやすいか」「イライラしやすいか」をチェック。・・・イライラしやすい人がチラホラというようです。



自社のではないですが実際の事故のドライブレコーダー映像をみて、原因や解決策を議論します。実際の走行時にもよくあるシチュエーションです。明日は我が身に起こりうる光景にハッとします。スマホのながら運転の危険性の認識、車線変更、カーブ、駐車場などそれぞれの場面での注意点も共有しましたので、受講後からはみんな気を引き締めて安全運転に努めます！

NEW 安全日記～最近の出来事～

このコーナーは、協力業者会からのご要望を受け、社内でも起きた実際の事故案件や事故になり得る事象などを共有することで注意喚起を促し、再発防止に取り組むことを目的として継続して発信していきます。

資機材の落下による壁の破損の件

施工内容：定期清掃（床洗浄）
事故内容：共用部踊り場壁破損

【事故原因】

・1Fから2Fに階段でコードレスバキュームを運ぶ際に身体のバランスを崩してバキューム本体上部が落下してしまい踊り場の壁に穴があいた。

【再発防止策】

・KY活動にて危険予知と指示出しを行う
・周囲の安全確認の徹底
・階段での機械の運搬に関しては一人での作業が難しい場合は2名以上で協力しあい作業を行う



「効率<安全」！！ KY活動で事故ゼロを目指しましょう！